

令和6年7月7日(日)、埼玉県は上尾市にある埼玉県立武道館において『令和6年度関東ジュニア柔道体重別選手権大会』が行われました。

大会結果

女子48kg級 中山陽和 2回戦敗退 大里慶咲 初戦敗退

女子57kg級 佐島澤 初戦敗退

男子66kg級 井上理久 初戦敗退

思ったような結果には届きませんでしたが、**4名とも自分の力を出し切り、強者を相手に素晴らしい戦いを見せてくれました！**

応援してくださった保護者の皆様をはじめ、沢山稽古をつけてくださったOB・OGの皆様、本当にありがとうございました。



【大会を前に必勝祈願をする部員達】



【試合前のミーティング】

【戦評】

最後の大会となった2名の3年生【佐島（女子57kg級）・井上（男子66kg級）】の試合内容を紹介します。

佐島は以前も取り上げましたが、中学時代はバレー部で高校に入学してから一生懸命努力してきた選手です。

今大会の初戦は山梨県1位の高校生。相手選手の力量の方が倍はあるであろう相手に、ひるまずいつも通り自分の柔道をぶつけていきました。押されながらも投げられずに凌ぐも反則のポイントが積みあがってしまう。途中投げられて技有のポイントを奪われるも必死に凌ぐ。試合終盤に渾身の横車を仕掛ければ、もう少しで技有のポイントが入りそうな素晴らしい技をくりだすもノーポイント。最後は粘りに粘ったがもう一つ技有を奪われ一本負けとなった。

自分らしさを十二分に出して、戦う姿は本当にカッコ良かったです！

井上は県大会を優勝して、全国大会にチャレンジできる最後の大会となります。神奈川県の大生との試合でした。相手右組のケンカ四つ。とても対策をしてきた印象である。井上が激しく組手をとりに間合いを詰めるもしっかりと間合いを取り井上の十分な形にさせない。相手選手も非常にうまい選手である。なかなか間合いが詰められず少し不十分な形を相手選手は見逃さず背負い投げを打つと技有。ポイントを奪われる。何とか自分の形にしようとして激しく攻め立て、少しずつ流れを掴みかけたが投げるまでには至らず。悔しい敗戦となった。

佐島、井上の3年生2名はこれが最後の大会となりました。**本人たちは力を出し切り、非常に素晴らしい試合を見せてくれました。後輩たちも揃ってあのようなカッコいい先輩になりたいと口をそろえて話していました。**

次にあの舞台で活躍する選手が出るように、これからの稽古を頑張っていきたいと思います。

素敵な思い出を作ってくれてありがとうございました（≥v≤）



【最後となる大会の初戦に挑む佐島選手】



【堂々と相手と対峙する井上選手】